

発注企業動向調査結果

-2023.1-

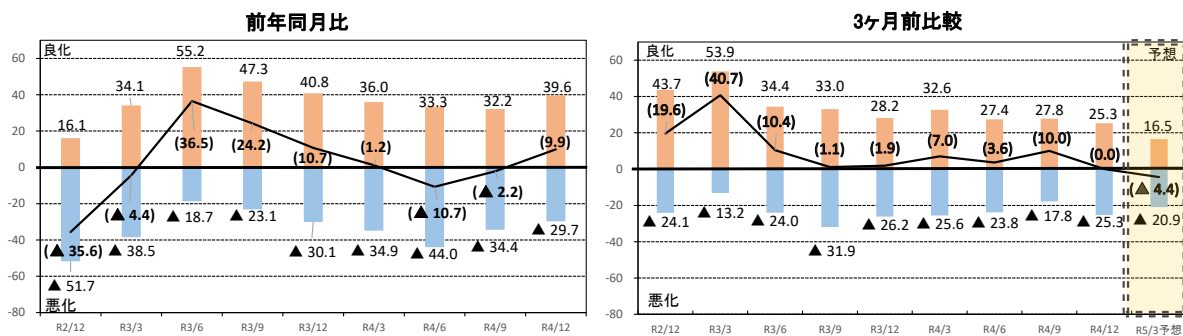
- 調査時点 令和4年12月調査(令和4年12月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業91社(回答率:60.67%)

<業種内訳>

プラスチック	8社
鉄鋼・非鉄	10社
金属製品	7社
一般機械器具	17社
電気機器	22社
輸送用機器	20社
精密機器	2社
縫製	5社
計	91社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

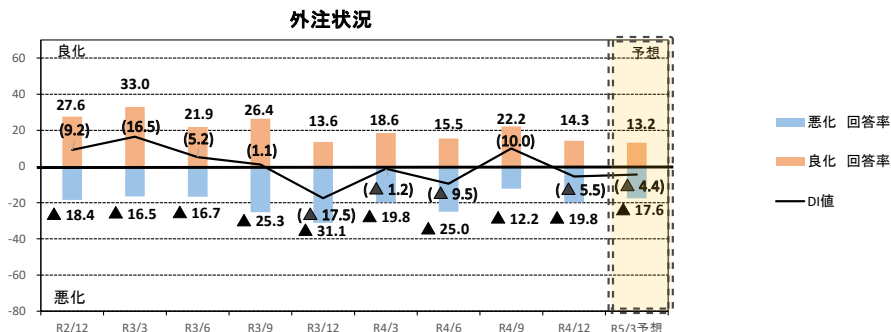
●生産高



	R2/12	R3/3	R3/6	R3/9	R3/12	R4/3	R4/6	R4/9	R4/12	R5/3予想
前年同月比	▲ 35.6	▲ 4.4	36.5	24.2	10.7	1.2	▲ 10.7	▲ 2.2	9.9	
3ヶ月前比較		19.6	40.7	10.4	1.1	1.9	7.0	3.6	10.0	0.0

■ 悪化 回答率
■ 良化 回答率
— DI値

●外注状況



	R2/12	R3/3	R3/6	R3/9	R3/12	R4/3	R4/6	R4/9	R4/12	R5/3予想
外注状況	9.2	16.5	5.2	1.1	▲ 17.5	▲ 1.2	▲ 9.5	10.0	▲ 5.5	▲ 4.4

■ 悪化 回答率
■ 良化 回答率
— DI値

●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)のDIは9.9で前回の▲2.2から12.1ポイント増となった。
- ・生産高(3ヶ月前比較)のDIは0.0で前回の10.0から10.0ポイント減となった。
- ・外注状況(3ヶ月前比較)は▲5.5で前回の10.0から15.5ポイント減となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲4.4、外注状況が▲4.4という予想になった。
- ・その他自由意見として、

- ・自動車業界で半導体不足が続き、生産が回復しているとは言えない。
- ・取引先の動向に左右される要素が大きく、今年度中に大きく回復見込みは薄い状況である。
- ・原材料費の高騰により、利益が圧迫されている。
- ・価格転嫁がうまくいっていない。
- ・コロナ感染による停滞に苦勞している。
- ・半導体製造装置で減産情報がある。
- ・発注がコロナ以前に戻りつつあるが、人材不足が深刻である。
- ・全体的に生産は増加傾向だが、部材の供給にリスクがあり、先が見通せない。

という意見が寄せられた。